



度会町議会 だより

熊本・大分地方を襲った連鎖地震、
義捐の心と南海トラフ変動の
ことに思いをはせます。

広報委員
登、溝口、若宮、西井、舟瀬、木本

第1回定例会

平成28年3月2日～11日

平成28年度予算7議案、条例15議案、その他7議案並びに平成27年度補正予算6議案を可決
一般会計当初：上水道移行工事完了などにより対前年度比マイナス3.9%：34億179万5千円でスタート
*詳細は、広報わたらい4月号をご覧ください。

議案に対する質疑

平成28年度一般会計予算

過去3か年(24～26年度)の自主財源比率は23.8%、35.8%、37.7%となっている。28年度当初予算ではどのような編成となったのか。また財政力指数はどれほどになるのか。：登喜三雄
*自主財源は12億円余りで35.6%を確保する編成となった。財政力指数は今後の分析に待つ。

予算決算常任委員会

委員長 登喜三雄 副委員長 若宮淳也
委員 議長を除くほか全議員

平成28年度一般会計予算

政策調整室(現・政策調整課)関係

へまちづくり推進費140万4千円の委託内容を問う。また企画費において、道の駅構想に対する当初予算での方針を問う。：岡村広彦
*計画行政を検証する仕組みを作ります。また、道の駅に關する当初予算の計上はありません。

住民課(現・住民生活課)関係

医療関係証明手数料の算出根拠は！：岡村広彦

福祉保健課(現・福祉・環境課)関係

わたらい緑清苑建設償還費収入2400万円余はいつまでか！：木本タエ子

生活環境課(現・福祉・環境課)関係

・保育所の正職員と臨時職員の人数は！：木本タエ子
・伊勢広域環境組合負担金8134万3千円の増加要因は！：岡村広彦
*施設の修繕に伴うものです。

産業振興課関係

・公園管理費の測量設計等委託料350万円はどのような再編整備を目指すのか。：岡村広彦
・林業振興対策として木育を計画するというが、学校教育と関連するようなのか。また、体験間伐の具体的な計画は！：岡村広彦
・耕作放棄地調査を行う委託料477万4千円の調査内容は！また、現況調査にとどまらず小作地がやがて耕作放棄される可能性が強まっている。この把握に努めるよう要望する。：牧幸作
・南部をめぐるバイク旅促進事業補助金50万円の内容及び第20回春まつりの経費が増加する計画内容を問う。：木本タエ子
・有害鳥獣駆除委託金781万5千円の、対象獣と単価を問う。：濱岡裕之
・山林委員報酬5万7千円に関して活動計画を問う。：福井秀治

建設課関係

*植林振興の時代を経て、今の時代に見合った検討が必要と考えます。

空き家実態調査業務委託490万円の調査方法は！：牧幸作

・橋梁の長寿命化点検委託料500万円に関して、五郎ヶ瀬橋は対象になっているのか！また調査対象の順位は！：濱岡裕之

教育委員会関係

南伊勢高校度会校舎活性化協議会補助金149万4千円の内容は！：牧幸作
・小学校備品購入費277万6千円の内容は！：牧幸作
・町指定文化財関係事業補助金28万円の内容を問う。：牧幸作
・教育費雑入92万円の内容は！：木本タエ子
・小学校通学輸送業務委託料4800万円は何台のバスが運行しているのか！：木本タエ子

平成27年度一般会計補正予算(第4号)

総務課関係

・地域福祉センター修繕工事設計業務委託料150万円に関して、建設経過年数は！また何年前に一度屋根修繕が実施されている。今回の原因は寿命と判断できるのか。：福井秀治

会期中の町内視察(全議員)：3月8日



★役場庁舎太陽光発電設備(完成)



★風力発電建設現場確認

閉会中の継続審査 ◎委員長 ○副委員長

★産業福祉常任委員会 (◎舟瀬勝、○若宮淳也、岡村広彦、牧幸作、木本タエ子)…3月18日



★柵橋地内(岸上、野垣外)太陽光発電設備

★総務教育常任委員会 (◎溝口周生、○西井仁司、登喜三雄、濱岡裕之、福井秀治)…4月6、7日



★町営バス運行(役場～川口)

3月11日 一般質問(要約)

一 福井秀治

●少子化対策における若者の出会い支援について：町長あて

質問 日本の婚姻件数が減り続けています。結婚と出産が一体と考える中、これに歯止めがかからないと少子化が一層進みます。結婚を希望しながら出会いの場がないという若者が多いことから各自治体が積極的に結婚支援に動き出してきました。伊勢市では国の地方創生資金を受けて「いせ出会い支援センター」を設置し、南勢地域の結婚相談の拠点にするとして昨年10月よりスタートしました。これらの事業の成果を上げるには広域での連携による取り組みが必要であると考えます。今議会に「議案第32号伊勢市との定住自立圏形成協定の変更について」が提案されており、自治体間で結婚支援の取り組みを行いあうという協定が結ばれることとなります。出会い結婚支援について町長の考え方と取り組みについてお聞きします。



●大災害時のペットの避難、支援について：町長あて

質問 犬猫をはじめ、いろいろなペットを数多くの方々が家族同様の愛情を注ぎ、大切に飼育されています。命あるこれらのペットにおいても人間と同じく大災害時の際の避難・救援の道筋について早急に考えていかねばならないと思います。災害に備えて飼い主の心構えやルールの指導、避難救援体制の仕組みなどの情報を各家庭に配信し、人々の共通の認識となるように努めなければならぬと思っております。行政としてこれらの指針を示す考えをお持ちかお聞かせください。

答弁 3月29日、獣医師会伊勢志摩支部と災害協定

を締結しました。今後大災害時でのペット対策を県獣医師会の助言や協力を得て、飼い主を基本とした同行避難を想定し、応急仮設住宅に隣接したペットの管理場所を設定していきたいと考えます。

溝口 周生

介護保険制度の改悪について：町長あて

2018年度の介護保険制度改定へ向けた議論が、厚生労働省の審議会で開始されました。今回の改定議論で削減の標的にされているのは、要介護1・同2の人の暮らしを支える生活援助サービスです。



2014年の「医療・介護総合法」では、要支援の訪問介護・デイサービスが介護保険から外され、市町村の事業に移されました。2017年度から全自治体で実施するとしていますが、各地で「受け皿」不足が浮き彫りになるなど利用者・家族の不安を高めています。特別養護老人ホームの入所条件も要介護3以上に厳格化され、要支援2以下の人たちの行き場探し、ますます困難にされています。

それに追い打ちをかけるように持ち出されてきたのが要介護1・同2の生活援助の「保険外し」で、高い保険料を払い続けてきたうえ、「介護サービスが必要」と介護認定がされても、それに見合ったサービスが受けられないほど矛盾した話はありません。「保険」の根幹にかかわる大問題です。焦点は、要介護1・同2の人の生活援助サービスの「保険外し」です。

介護保険財政への公費支出を何とか抑え込みたい安倍政権は、軽度者の使える保険サービスを削減する方向を強めてきました。財務省の財政制度等審議会などは、生活援助で掃除や調理の利用が軽度者にも多いことを、繰り返し挙げています。乱暴な意見です。介護保険の掃除や調理の支援は、ケアプランに基づき計画的に実施されているものです。専門家が生活援助に入ることを利用者の状態の微妙な変化にも気付き早期対応が可能になります。生活援助の保険外しは、そのような対応を極めて難しく

します。その結果、利用者の重症化が進めば介護保険財政を圧迫することになりかねません。大規模なマイナス改定ではなく、安心・安全の介護保障の実現こそが望まれますが、町長の所見をお伺いいたします。

答弁 「地域包括ケアシステム」の構築を充実すると共に、国の改正状況を注視しながら、地方自治体として最大限の努力を惜しまず、地域住民の皆さんが安全・安心して老後を暮らせるよう、各種事業を進めていきます。

登喜三雄

各種の行政計画と財政の見通しについて

(財政なき計画は無力である)：町長あて

質問 本町は、3割自治の厳しい財政力の下しかし、過去3か年、ほぼ80%を下回る「経常収支比率」が示すように、不断の努力によって財政構造の弾力性が保たれている。一方、総合計画を頂点に知恵を絞った多岐にわたる各種の個別計画のもと行政水準の向上を目指すこととなる。しかし、財政の裏付けがない計画は無力である。各種の計画が実りあるものになるのか計画行政と財政の見通しについて質問する。

◆平成24年度から26年度3年間の普通会計における決算指標を見ると、町税が減少しているのに自主財源比率が伸びている。本当に財政力が向上しているのか！この分析とともに28年度以降、各種のまちづくり計画を執行するには、投資的経費、消費的経費ともに多くの財源が必要になることは明らかである。果たして実現可能な計画とするための財政計画が策定されているのか尋ねる。

答弁 現在、中長期的な財政計画は策定していません。変動する社会情勢に対応した中長期的な財政計画の策定は困難なので、施策の計画に当たっては、財政的に有利な制度の活用による予算の計上によって健全で計画的な財政運営を推進しています。

◆町の経済力を伸ばす糸口を探り、またどこに行政サービスを還元させたらよいか、そのため町民

税を構成する産業別の所得依存度(どの産業の所得から分配を得ているのか)を分析し、まちづくりに活かすことを提言する。

答弁 町税は、給与所得者の方々が8割以上を占めいかに行政サービスを還元するのか分析することは困難を極めます。今後、税収の財源確保と、再生可能エネルギー事業の推進、食品加工業等の企業誘致に引き続き努力いたします。

◆他の自治体と比較し均衡ある行政水準の向上を目指して、町民の皆さんに辛抱願っている分野に果敢に挑み、「満足度・幸せ感」の醸成につながる展望が期待される。次の課題に対する財政の見通しと町長の政治信条を尋ねる。

◎町民文化ホールの建設

◎デマンドバス(タクシーのような町民バス)の実証



答弁 ◎文化ホールは今後、運営面も考慮し、どんな施設していくのが重要課題の一つとして慎重に検討します。◎デマンドバスは「利便性の強い事業」であり、違う角度からも方法を模索し、当町の実情に即した交通手段を実現したい考えです。

若宮 淳也

地域包括ケアについて：町長あて

質問 今後、度会町民が住み慣れた町で暮らしていくには、在宅での医療や介護サービスの充実が必要と考えられますが、度会町が考える地域包括ケアシステムの構築についてどのようにお考えなのか、現状も含めてお聞かせください。

答弁 27年度は、認知症の施策を重点的に進め28年度は町の実情に合わせた生活支援サービスの充実を重点施策として取り組みます。システムの構築には、サービスの受け手から、地域を守る主体として互助の精神を核とした地域づくりが必要と考えます。

度会町の学校教育の充実について：教育長あて

質問 教育現場における感染症対策についてー今年もインフルエンザが流行し、子供たちが学校に通えない状況が生じています。子供たちの教育現場にできるだけインフルエンザ等の感染症が流行しないよ

うな対策がどのようにとられているのか！現状をふまえてお聞かせください。

答弁 厚労省の指導に基づき、クラス別感染者数、発熱、風邪ぎみの生徒数などの情報を全職員が共有し、消毒用のアルコールを常時設置し、手洗いの励行、うがいやマスクの着用など、予防啓発の取り組みを日常的に行っています。

◆住民から寄せられる意見についてー小学校卒業式の服装が自由とされている中で、服装の統一感がなくまた、親の費用負担も大きいという意見がこの時期になると多く聞かれる。様々な考えや意見が寄せられる現在、今後どのような取り組みをしていくのかお聞かせください。

答弁 平服で出席できればよいというのが従来からの考えです。様々な家庭事情にある児童に配慮し、華美になりすぎず、あくまでも平服を基本として理解と協力が得られるよう努めます。

平成28年第1回臨時議会 平成28年3月29日

◆平成27年度補正予算(第5号)

1127万4千円を追加し、予算総額を40億4893万7千円と定めた。：地方創生加速化交付金事業及びふれあい広場栗山浄化槽修繕事業が提案され、同時に繰越明許費として可決した。

議会の記録：概況(28年2月～4月)

- 4月14日―度会郡(度会町・玉城町・南伊勢町・大紀町)町議会連絡協議会研修：平成28年度三重県予算の概要等(講師 三重県総務部長)
- 4月19日―広域消防新庁舎及び東部簡易水道統合整備事業の完成を視察
- 4月22日―丸山千枚田(熊野市)及び村宮コンビニ(和歌山県北山村)を視察研修

参加式典等

- 3月8日 度会中学校卒業証書授与式
- 3月18日 度会小学校卒業証書授与式
- 4月6日 度会小学校入学式
- 4月7日 度会中学校入学式

